
第1地域 RRFC 便り7月号

【RRFC からのお知らせ 日本の財団目標について】

2020-21 年度 (RRFC) 第一地域 羽部 大仁 habu@honganji.or.jp

第二地域 服部 良男 ceo@hattori.org

第三地域 田村 泰三 tamurath@chive.ocn.ne.jp

我々財団日本チームは、分かり易く、使いやすい「みんなのロータリー財団」を目指し、補助金プロジェクトをサポートし、そして補助金への参加と補助金を活用して地域社会に変化を生む活動の推進へのお手伝いをします。

さて、ラビンドランロータリー財団管理委員長は国際協議会の講演で「財団は、ロータリー会員の財産であり、財団は人々の人生を変えるのです」と述べられています。ロータリアンみんなの財団なので、その存在価値が問われているのです。会員一人一人が関心を持って「世界で良いことをしよう」として始められた「みんなのロータリー財団」に更なるご支援(ファンドレイジング)と新しい補助金プロジェクトへの挑戦をお願いいたします。財団日本チームへのお問い合わせ、ご相談をお待ちしております。

そして日本のロータリアンが結束して年次基金寄付ゼロクラブゼロを達成しましょう。昨年度の実績を踏まえて話し合った結果、次年度の日本の目標を次の通りいたします。

- 年次基金
 - ・1人当たり **150**ドル(日本全体で 1,350 万ドル)
 - ・年次基金寄付**ゼロクラブ0達成**
- ポリオプラス基金・1人当たり **30**ドル(日本全体で 270 万ドル)
- 恒久基金
 - ・冠名基金を各地区1件以上設立
- 大口寄付
 - ・寄付の種類にかかわらず、1万ドル以上のご寄付を日本全体で 100 件
 - ・AKS を日本全体で **10 名**増やす
 - 中期目標として、2~3年で「AKS 0名地区」ゼロを目指す
- DDF の活用
 - ・**DDF の 20%をポリオプラス**に寄贈
 - DDF の 20%をポリオプラス基金へ寄贈した地区と、1500ドル以上の寄付をしたクラブには、**ロータリー財団から感謝状**が贈られます。
 - ・**ロータリー平和センター、重点分野への寄贈**

「日本ロータリー平和センター基金(E11659)」の累計が、150 万ドルに達すると、毎年この基金からロータリー平和フェロー1名を支援できます。

・各地区が DDF を使い切る

- 補助金
 - ・グローバル補助金
 - ・地区補助金の活用の促進
 - ・ロータリー平和フェローシップの促進

世界の寄付目標内訳

世界の寄付目標内訳	
年次基金	1 億 3,500 万ドル
ポリオプラス基金	1 億 5,000 万ドル(ゲイツ財団マッチング含)
恒久基金	8,500 万ドル (2025 年までに 20 億 2500 万ドル)
その他の基金	4,000 万ドル (グローバル補助金への現金拠出等)
全体	4 億 1,000 万ドル

優先事項は、新しいロータリー行動計画に沿うもので、より大きなインパクトをもたらすためにロータリー財団が行うすべてのことにつながっています。

第一の優先事項はもちろん、ポリオ根絶です。

第二の優先事項は、2025 年までに恒久基金を 20 億 2,500 万ドルとし、年次基金とポリオプラスへの寄付を増やすことです。

この年度の総合的な寄付目標は、前年の目標よりわずか 1,000 万ドル多い 4 億 1,000 万ドルです。

第三の優先事項は、補助金の測定可能なインパクトを高めることです。

【新型コロナウイルス流行を強く生き抜くための「回復力」の科学】ジェニー・ストッツ（ロータリー6690地区会員増強委員長）



ジェニー・ストッツさん

回復力(Resilience)とは、逆境においても、その状況に適応していくプロセスのことです。人間は衝撃的な出来事やストレスの強い場面に直面すると、脳が多数の神経経路を活性化させ、身体を守る仕組みになっています。このような生物学的プロセスのおかげで、私たちは健康を保っています。そして人はこのような出来事を乗り越えることで成長して変わることができ、また強くなれるのです。

現在、多くの人が新型コロナウイルスのパンデミックという現実に向き合いながら日々を送っています。幸いなことに、回復力を大きくする方法がいくつかあります。今回の新型コロナウイルスの流行は、皆が一丸となってロータリアンやクラブの回復力を養い育てることで、ロータリーをさらに強くするチャンスでもあります。そのためのヒントをいくつかご紹介します。

つながる: 回復力を養う上で大切な要素の一つは、単純に人と「つながる」ことです。まずは仲間のロータリアンと連絡を取ってみましょう。電話で話したり、メッセージを送るのもよいですし、会員がオンライン例会に参加できるよう準備するのもよいでしょう。

また各クラブも、ロータリーというグローバルなネットワークに各会員が溶け込めるように、他のクラブとつながることを検討してみましょう。

大局を見る: 人は逆境が続くと希望を失ってしまいます。だからこそ、現実を見つめ、ポジティブな思考を持ち続けられるよう仲間を励ましましょう。ロータリークラブは現在、例会の新しい形式に適応する必要に迫られ、また会員増強や寄付推進についても懸念が募るなど、困難に直面しています。しかし、この困難は決してロータリーの将来に影を落とすものではありません。私たちの将来は、この難局をどう乗り切るかにかかっているのです。

健康を保つ: 私たちは、「隔離」や「ロックダウン」、「Zoom 疲れ」などという言葉が一般的に使われるようになった時代を生きています。そんな今だからこそ、仲間の会員と一緒に健康増進、健康第一を心がけましょう。またオンライン例会では、会員自身や家族が実践している健康維持方法を紹介してもらいましょう。休憩が必要な人や、例会に出席できない人、Eメールの返信に数日かかってしまう人にも、優しく対応してあげましょう。今は点数争いや貢献度を競うような時ではありません。優しさをもって話し、耳を傾けましょう。

目的を持つ: 人を元気づけると、自分自身の心も満たされます。そうすることで自尊心が磨かれ、目的意識や人の気持ちを汲み取る心も芽生えてきます。まずは、実行可能かつ達成可能な奉仕活動を仲間と一緒に計画してみましょ。また、現在進行中の大規模なプロジェクトと並行して小規模なプロジェクトを実施することで、会員一人ひとりが奉仕活動に参加しやすくなります。

感謝する: 人は感謝の気持ちを心で受け止め、意識的に考えることで力を得ています。感謝されることで、セロトニンやドーパミンといった神経伝達物質の放出が促進され、喜びや幸せを感じやすくなります。ですから、ほんの少しだけ時間を取って仲間に感謝し、またクラブの全会員から地域社会やパートナーに感謝の気持ちを示す機会も作りましょ。

皆がお互いを気遣うことができれば、回復力を養い育むための道を切り拓くことができます。このような努力を組織レベルまで拡大することで、ロータリーの新たな潜在能力が解き放たれ、クラブの強化、会員体験の向上につながります。

世界は今、回復力、適応力、強さを兼ね備えたロータリアンとロータリークラブを必要としています。お互いを思いやる気持ちは大切ですが、自分自身を気遣うことも忘れないでください。あなた自身も、大きな回復力を備えた最高の自分になるべき大切な存在なのです。

寄稿者紹介: ジェニー・ストッツ。アセズ・サンライズ・ロータリークラブ(オハイオ州)の創立会員。第 6690 地区会員増強委員長。現役のソーシャルワーカーであり、児童の権利擁護者、心的外傷の専門家。(この記事はロータリー・ボイスからの転載です)

【ポリオ根絶に向けてのお力添えに感謝申し上げます】



新型コロナに関心が集中する中、ポリオ根絶活動も継続されています。現在、アフガニスタンとパキスタンで昨年の同時期より多くの野生型ポリオによる発症がでており、予断を許さない状況が続いています。

詳しくはこちらをご覧ください：<https://on.rotary.org/2mmQZIt>

【三木明氏が TRF 管理委員会特別アドバイザーにご就任】



(三木明 2020-2021 年度 TRF 管理委員会特別アドバイザー)

三木先生ようこそ。TRF 管理委員会特別アドバイザーご就任おめでとうございます。特集号にも書かせて貰いましたが、私が地区ガバナーを務めた2014-15年度のGETS、(2013-14年度)のRI研修リーダーでご指導とご薫陶を賜りました。お優しいのにロータリーの真髓を語ると一歩もお譲りにならない一哲な先生でもあります。ロータリーには色々な人が居て、みんな違って良いとお考えですから、私のような昨日に住んだり明日に散歩するようなものをお認め願い有難いと感謝しております。昨年のロータリー研究会では2つのセッションのモデレーターを仰せつかりました。(羽部記)

【中谷 E/MGA、高柳 EPNC と ARRFC を各地区のセミナーに】

2020-21年度のスタートにあたり、COVID-19 の影響を受けて中止や延期になっている「財団セミナー」などの開催に苦慮しておられる地区ガバナー・地区財団委員長にお役に立つご提案です。我々第1地域財団チームは、先日第1地域 RRFC 補佐 ZOOM 研修を開催して準備を済ませております。中谷 E/MGA からは先月末に E/MGA 通信2号が配信されました。素晴らしい内容ですからご活用願います。また高柳 EPNC はエンド・ポリオ・ナウ・コーディネーターとして研鑽を積んでこられたスペシャリストです。併せて我が第1地域には4名の ARRFC が皆様方の地区からの要請に応える準備を整えております。ご予約が決まりましたら早急にご連絡をお待ち申し上げます。(連絡先メール:erinji.habu@gmail.com)

【2020-21 年度第1地域財団チームのご紹介】



(中谷研一 第1地域 E/MGA、第2550地区 PDG)

中谷研一(なかや けんいち)

栃木県足利市通2丁目2646-1 (EMAIL: kenmd12phdnmc@aurora.ocn.ne.jp)

医療法人櫻会中谷医院理事長

学歴: 昭和大学大学院医学研究科博士課程内科系修了

職歴: 2016-20 年足利市医師会会長、2020-24 年栃木県医師会理事

ロータリー歴:

1986年3月 国際ロータリー第2550地区足利東 RC 入会(職業分類:内科医)

1994-2000年度 地区世界社会奉仕委員及び委員長

2002-03年度 超我の奉仕賞受賞

2008-09年度 足利東 RC 会長

2011-12 年度 第8グループ・ガバナー補佐

2015-16 年度 地区ガバナー

2018-19 年度 国際ロータリー第 3350 地区 RI 会長代理

2019-22 年度 E/MGA(恒久基金/大口寄付アドバイザー)

※1917 年当時の会長であったアーチ・C.クランフが「世界でよいことをする」ための基金をつくるというビジョンを発表し、26ドル 50 セントの寄付からスタートした財団は、現在世界有数の財団に成長し、何百万人という人々に対するロータリアンの皆様の人道的活動を支援してまいりました。各地区ガバナー、ガバナー・エレクト、地区財団委員長の皆様には、多くの大口寄付、冠名基金の設立そして多くのメジャー・ドナーの皆様を輩出して頂き、2019-20 年度ロータリー財団へ大きなご支援を賜りました。心より感謝を申し上げます。(E/MGA 通信2号より抜粋)



(高柳育行第1地域 EPNC、第2570地区 PDG)

高柳育行ポリオ根絶コーディネーター(EPNC)

ロータリーの最優先事項でありますポリオ根絶に向け、1 人当たり 30 ドルと地区財団活動資金(DDF)の 20%以上をポリオプラス基金にご寄贈のお願いをし、ご協力いただいていますことに感謝申し上げます。

EPNC として根絶に向けて取り組んでまいりますので、引き続きご協力をお願い致します。Email: incho@takayanagi-dc.com

ARRFC のご紹介



(飯村慎一第1地域 ARRFC、2550 地区 PDG)

宇都宮90ロータリークラブの所属で、RI 又国内において多くの重責を担っておられます。2013-14 年度地区ガバナーをお勤めになり、外国への奉仕活動にも積極的に取り組んでおられます。この度“地域社会の経済発展のための大口寄付推進計画委員会委員”を拝命され、国内委員として 2021 年台北国際大会推進コーディネーター補佐も兼務されておられます。

飯村慎一 ARRFC の担当地区は D2550,D2840,D2530,D2520 の4地区です。(財団に関することはお気軽にご相談ください。)Email: shiiimura@koyonet.com



(橋岡久太郎第1地域 ARRFC 第2790地区 PDG)

RID2790 地区(千葉県全域 82 クラブ)佐倉中央 RC の橋岡久太郎と申します。

18 歳でロータアクトに参加して以来、世界・地域で良いことをするロータリアンの背中から沢山のことを学び続け、還暦を迎える年に地区ガバナーを勤めるご縁を頂きました。

コロナ禍で大きく価値観が変わろうとしている昨今ですが、数々の疫病や戦乱を乗り越え変わることなく650年の歴史を重ねている私の生業である能楽に、ロータリー財団の活動を重ね、これからもロータリー財団の真髓をしっかりとみつめながら皆様とこの難局を乗り越えていきたいと存じます。(橋岡 ARRFC の担当地区は、D2790, D2820, D2570, 2770 の4地区です。財団に関することはお気軽にご相談ください。)

Email: kyutarou@catv296.ne.jp



(細川吉博第1地域 ARRFC、第2500地区 PDG)

第1地域 ARRFC 細川吉博(RI2500 帯広北)

2018-19 年度に地区ガバナーを経験させて頂きました。ロータリー歴が豊富というわけではないですが、地区の中では財団関係を主に携わらせて頂きました。整形外科医で、地域で病院、介護施設など運営しています。

RI はもとより、財団の発展を通じて多くの人に素晴らしい恩恵、機会があることを伝えていきたいと思えます。ARRFC の大役は身に余りますが、羽部 RRFC のお役に立ちますよう努めてまいります。(細川 ARRFC の担当地区は、D2500, D2510 の2地区です。財団に関することはお気軽にご相談ください。)

Email: hosokawa@hakuikai.org



(佐々木昌敏第1地域 ARRFC、第2560地区 PDG)

第 2560 地区(新潟)の佐々木と申します。RRFC 羽部大仁さんとは同期ガバナーです。ロータリーの返事は、ハイと yes のどちらかを選びなさいと言われており、この度お役目をお受けすることに成りました。60(還暦)の手習いということがありますが、小生 80 の手習いでスマホ対応などマゴマゴして困っている昨今であります。どうぞ宜しくお願いします。(佐々木 ARRFC の担当地区は D2560,D2540,D2800,2830 の4地区です。財団に関することはお気軽にご相談ください。)

Email: m.s.medical8080@docomo.ne.jp



以上の素晴らしいチームで 2020-21 年度の活動を推進することになります。各地区ガバナー・地区財団委員長・地区ガバナー・エレクトにおかれましては、財団に関する様々なお悩みやご相談に対応してまいります。何なりとお尋ねくだされば幸甚に存じます。第 1 地域の RRFC 便りを 2020-21 年度、続けるかどうかについて悩みましたが少しでも皆様のお役に立てたらと思い直して今年度も継続することと致しました。つきましては、皆様からのご要望にも、応える必要も感じてまいりましたので、ご意見、ご質問などお寄せ下されば有難いと存じます。財団に関する様々なトピックや最新情報まで適宜お伝えしたいと考えております。引き続きお読みくださいますようお願い申し上げます。新年度のご挨拶とさせていただきます。(羽部第 1 地域 RRFC)

【子規の句に蓮の花を書きました】



(子規の蓮の俳句と絵)正

岡子規は生涯二万首の句を詠んだと言われていますが、特に「蓮の花」を詠んだ句が多いのは不思議です。蓮池といえば「上野の不忍の池」が有名です。子規の生涯は僅か34年の短いものでした。雅号の子規はホトギスの異称で、結核を病み喀血した自分自身を、血を吐くまで鳴くと言われたホトギスに喩えたものだそうです。

明治29年に、リュウマチと思っていたのが、結核菌が脊髄を冒し脊髄カリエスを発症していると診断されたと言うのです。先号にも話したが、多くのエピソードが残っていません。

松山に漱石を訪ねたとき、「鰻を奢ると誘って、支払いは漱石だった」とか、森鷗外とは五友の仲として、亡くなるまで続いたそうです。野球の振興に尽くしたことも以前に書きましたが、自らも大学野球(一高ベースボール会✕明治学院白金倶楽部)の一高の捕手として1890年引退まで続けていたのですから物凄く好きだったと想像できます。

子規の随筆「筆まかせ」の中に、明治23年3月21日午後、上野公園博物館横の空き地で試合を行ったことが書かれており、その時子規は捕手を守っていたことが分かる内容が書かれています。その後、子規は野球を題材にした俳句や短歌・小説・随筆を発表して、野球の普及に貢献しました。また数々の野球用語を日本語訳したことも知られています。このような功績を称え、上野恩賜公園開園式典130周年を記念し、2006年(平成18年)7月21日に上野恩賜公園野球場で句碑の除幕式と正岡子規記念野球場の愛称が披露されました。句碑には「春風や まりを投げたき 草の原」の句が刻まれています。想像ですが、子規と漱石は一緒に野球を観戦して大きな声を出していたに違いないでしょう。

今回の句は「昼中の 堂静かなり 蓮の花」子規の蓮の句の中で一番好きなものです。

「お堂に飾られた蓮の花は実に落ち着き払い、やがてお浄土に咲き誇る蓮の台座を、約束しているようだ」喩えお堂にお参りが始まっていても多くの参詣の一人一人がお浄土を願っているそんな静けさを感じる句です。

もう少し有名歌人の俳句を紹介しましょう。西行法師の「おのずから 月やどるべきひまもなく 池の蓮の 花咲きにけり」。定家の「はちす咲くあたりの風の かほりあひて 心のみづを 澄み池かな」。芭蕉の「蓮のかを 目にかよはすや 面の鼻」。千代女の「蓮白し もとより水は 澄まねども」。一茶の「うす縁や 蓮に咲吹かれて 夕茶漬」

この中で千代女の句は実に信仰に満ちています。蓮は泥田に咲きます。綺麗な水には咲かないものです。即ちお浄土の蓮は薄汚れた人間界を救う本願に誓われているので、念仏の救済は、泥田にしか生きられない私の唯一の救いとなると謳った句ではないかと頷いていることです。分陀利華は白蓮華と言って泥の中に咲く花で、「正信偈」には「是人名分陀利華」是の人を分陀利華と名付くと教えられて参りました。「念仏する者は、当に知るべし、この人はこれ人中の分陀利華なり。」と仏説観無量壽經に出てくる言葉です。(羽部)